

御正忘報恩講（ご案内）

謹啓、寒い日が続きます。ご門信徒の皆様お元気でしょうか。皆様には平素よりお励まし、お支えを頂き厚く御礼申し上げます。

さて、大石先生のお師匠さまである藤解照海先生は「自分の報恩講をしなさい。恩を思わん者は報恩講をしません。恩を思ふのなら自分の報恩講をしなさい」と報恩講のたびに言われたそうです。

問法によつて、恩を思ふ事のない自分を知らされてみますと、自分の報恩講をして来ただろうか。人にばかり言つて自分はどうか、と恥ずかしいばかりであります。

私において恩を感じるのは、大石先生を通して帰る世界、生きがいのある世界、死にがいのある世界が親鸞聖人の教えにあることをお教え頂いた事です。ですから、一日一日の生活がむなしさを感じることなく、大満足の世界に戻られます。

本願力にあいぬれば

むなしくすぐるひとをなき

功德の宝海みちみちて

煩惱の濁水ぐだてなし

親鸞聖人作 高僧和讃

本年も皆様とともにお念仏の信心をいただき、深めていく報恩講を勤めさせて頂きましょう。ご参詣を心からお待ち申し上げます。合掌

記

日時	平成二十五年	二月	二十一日（木曜日）	昼一時半～ 夜七時半～
			二十二日（金曜日）	昼一時半～ 夜七時半～
			二十三日（土曜日）	昼一時半～ 夜七時半～
			二十四日（日曜日）	昼一時半～

帰敬式あり

講師

田中 秀法師（岐阜市）

森 愚英師（三重県 松林寺住職）

住職 坊守

御法話の前に数名の方の感話をいただきます。

（引受・・・森山・成恒地区）

- 二十一日昼席後、おぜんざいをご用意しております。お召し上がりください。
- 昨年にひきつづき、二十三日夜席（大速夜）に、立体紙芝居で親鸞聖人のご生涯を紹介させていただきます。
- 報恩講中、庫裏にて仏教婦人会主催のバザーを開催します。

普光山 長 仁 寺

ご門信徒各位